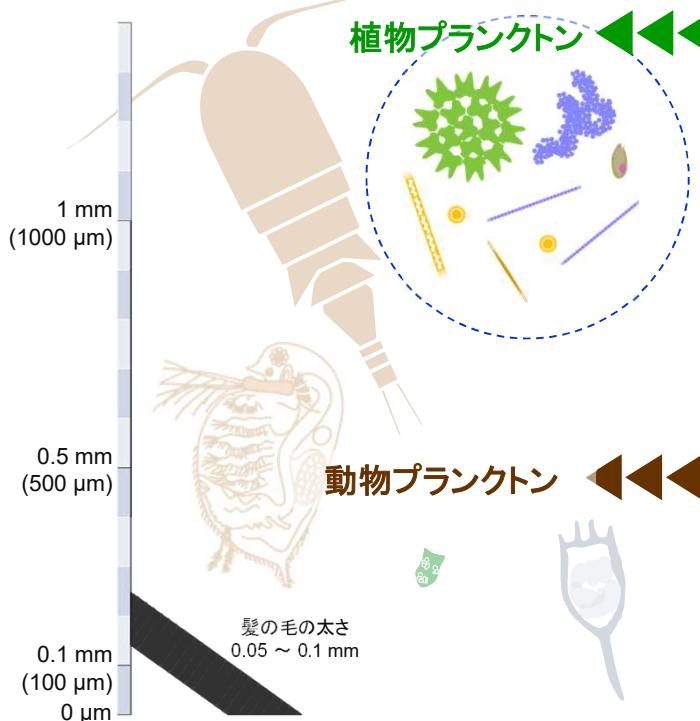


# 霞ヶ浦のプランクトン

## ～目に見えない小さな生き物たち～

霞ヶ浦の水の中には、小さな生き物の世界が広がっています。植物プランクトンと動物プランクトンたちの世界です。彼らは目に見えないほど小さいのですが、霞ヶ浦の水質や生態系に大きな影響を与えていたことが知られています。

プランクトンとは「水中を漂う生物」のこと。植物と動物に分けられます。



光合成をするものを、**植物プランクトン**といいます。霞ヶ浦には、350種類以上の植物プランクトンがいます。

### 珪藻綱

ケイ素を含む殻をもっています。その形から「中心目」と「羽状目」に分けられます。

#### ・中心目

アラカセイ属

#### ・羽状目

シトロ属

### 緑藻綱

種類が豊富で、様々な形のものがいます。

ケンショウモ属

### 藍色細菌(藍藻)綱

アオコやカビ臭などで人間社会に悪影響を及ぼす種類もあります。

#### ・ユレモ目

プランクトリックス属

#### ・クロオコックス目

ミクロキスティス属

### 褐色鞭毛藻綱

大量発生することがあります。

クリプトモナス属

### 織毛虫門

単細胞生物。織毛で細菌などを捕食します。

スナカラムシ属

### 輪形動物門

多細胞生物。植物プランクトンなどを食べます。

カメノウワムシ属

### 節足動物門

昆虫を含む大きなグループ。ミジンコのなまなどがあります。

ゾウミジンコ属

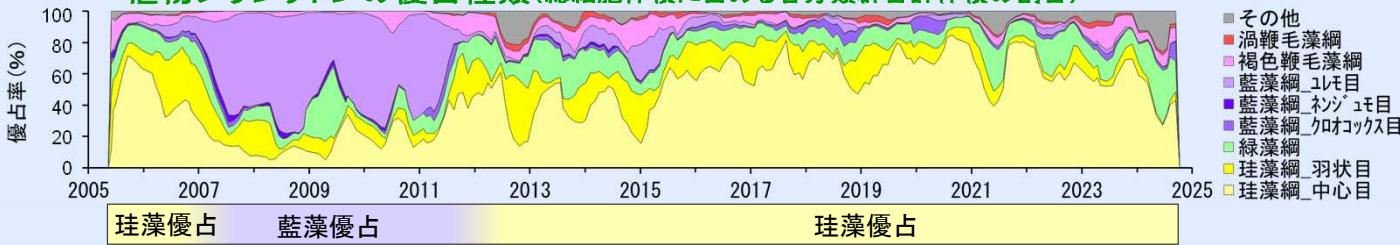
ケンミジンコ属(幼生)

光合成をしないものを、**動物プランクトン**といいます。霞ヶ浦には、150種類以上の動物プランクトンがいます。

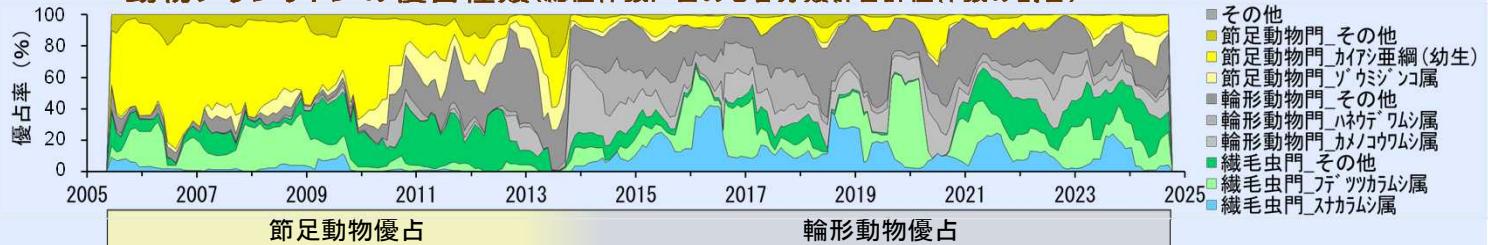
## 霞ヶ浦には、どんなプランクトンが多い？

霞ヶ浦(西浦)湖心の変動を示します(7ヶ月の移動平均で示しています)。優占する種類は長期的に変動し、近年では、植物プランクトンでは珪藻綱が、動物プランクトンでは輪形動物門が優占傾向であることがわかります。

### 植物プランクトンの優占種類(総細胞体積に占める各分類群合計体積の割合)



### 動物プランクトンの優占種類(総個体数に占める各分類群合計個体数の割合)



## 霞ヶ浦の動植物プランクトン

## ～ 霧ヶ浦の動植物プランクトンは、どのように変化してきたのか ～

霞ヶ浦の生態系の基礎となっているのが植物プランクトンです。また、水質の代表的な指標であるCODにも大きな影響を与えています。植物プランクトンや、それを餌とする動物プランクトンの優占種の変化から、霞ヶ浦の変化も見えてきます。

## 総細胞体積からみた植物プランクトンの優占種の変化

西浦（湖心）の植物プランクトンカレンダー（総細胞体積から見た植物プランクトンの優占種）

北浦（釜谷沖）の植物プランクトンカレンダー（総細胞体積から見た植物プランクトンの優占種）

※西浦・北浦とともに、2005~13年度、2022~2024年度は水面下50cmの水を採水し、測定しています。

2014～21年度は湖底直上50cmから水面までの水を採水し、測定しています。

## 個体数からみた動物プランクトンの優占種の変化

## 西浦（湖心）の動物プランクトンカレンダー（総個体数から見た動物プランクトンの優占種）

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2005	-	-	ストリーリピーライフ	カラヌエラ幼生	カラヌエラ幼生	カラヌエラ幼生	カラヌエラ幼生	オペララリラ	カラヌエラ幼生	カラヌエラ幼生	カラヌエラ幼生	カラヌエラ幼生
2006	-	デフリックカラム	-	カラヌエラ幼生								
2007	カニアノ類似物	デフリックカラム	カニアノ類似物	カニアノ類似物	カニアノ類似物	カニアノ類似物	カニアノ類似物	カラヌエラ幼生	カラヌエラ幼生	カラヌエラ幼生	カラヌエラ幼生	カラヌエラ幼生
2008	デフリックカラム	カニアノ類似物	デフリックカラム	デフリックカラム	デフリックカラム	デフリックカラム	デフリックカラム	カラヌエラ幼生	カラヌエラ幼生	カラヌエラ幼生	カラヌエラ幼生	カラヌエラ幼生
2009	エリカルリカルム	カニアノ類似物	カニアノ類似物	カニアノ類似物	カニアノ類似物	カニアノ類似物	カニアノ類似物	カラヌエラ幼生	カラヌエラ幼生	カラヌエラ幼生	カラヌエラ幼生	カラヌエラ幼生
2010	カニアノ類似物	エリカルリカルム	カニアノ類似物	カニアノ類似物	カニアノ類似物	カニアノ類似物	カニアノ類似物	カラヌエラ幼生	カラヌエラ幼生	カラヌエラ幼生	カラヌエラ幼生	カラヌエラ幼生
2011	カニアノ類似物	エリカルリカルム	カニアノ類似物	カニアノ類似物	カニアノ類似物	カニアノ類似物	カニアノ類似物	カラヌエラ幼生	カラヌエラ幼生	カラヌエラ幼生	カラヌエラ幼生	カラヌエラ幼生
2012	ミシジン	カニアノ類似物	エリカルリカルム	エリカルリカルム	エリカルリカルム	エリカルリカルム	エリカルリカルム	タマシニンコ幼生	タマシニンコ幼生	タマシニンコ幼生	タマシニンコ幼生	タマシニンコ幼生
2013	ソラシジン	デマリラム	ミシジン	ミシジン	ミシジン	ミシジン	ミシジン	デマリラム	デマリラム	デマリラム	デマリラム	ミツツヅルミシ
2014	カメノコラム	カメノコラム	ソリガム	フタワラム	ハナウラフシ	カメノコラム						
2015	デマリラム	カメノコラム	ソリガム	スカラム	スカラム	スカラム	スカラム	デマリラム	デマリラム	デマリラム	デマリラム	フツツヅルカラム
2016	デフリックカラム	デフリックカラム	デフリックカラム	ドロワム	デフリックカラム	デフリックカラム	デフリックカラム	スカラム	スカラム	スカラム	スカラム	スカラム
2017	ハナウラフシ	デフリックカラム	デフリックカラム	ドロワム	ハナウラフシ	カニアノ類似物	カニアノ類似物	スカラム	スカラム	スカラム	スカラム	ミツツヅルミシ
2018	カメノコラム	シルク	シルク	ドロワム	スカラム	スカラム	スカラム	ドロワム	カメノコラム	カメノコラム	カメノコラム	カメノコラム
2019	カメノコラム	ネコムシ	ネコムシ	ドロワム	スカラム	スカラム	スカラム	スカラム	カメノコラム	カメノコラム	カメノコラム	カメノコラム
2020	カメノコラム	カメノコラム	カメノコラム	カメノコラム	カメノコラム	カメノコラム	カメノコラム	ドロワム	カメノコラム	カメノコラム	カメノコラム	カメノコラム
2021	デフリックカラム	デフリックカラム	デフリックカラム	カメノコラム	カメノコラム	カメノコラム	カメノコラム	スカラム	カメノコラム	カメノコラム	カメノコラム	カメノコラム
2022	デフリックカラム	カメノコラム	カメノコラム	カメノコラム	カメノコラム	カメノコラム	カメノコラム	スカラム	カメノコラム	カメノコラム	カメノコラム	カメノコラム
2023	デフリックカラム	デフリックカラム	デフリックカラム	カメノコラム	カニアノ類似物	カニアノ類似物	カニアノ類似物	スカラム	カニアノ類似物	カニアノ類似物	カニアノ類似物	カニアノ類似物
2024	デフリックカラム	カニアノ類似物	カニアノ類似物	カニアノ類似物	カニアノ類似物	カニアノ類似物	カニアノ類似物	スカラム	カニアノ類似物	カニアノ類似物	カニアノ類似物	カニアノ類似物

北浦（釜谷沖）の動物プランクトンカレンダー（総個体数から見た動物プランクトンの優占種）

2024 フデツツカラムシ カメノコウムシc エダカラシケリカラムシ科 カイアシ類幼生 ツボワムシ フタオワムシs カメノコウムシc フデツツカラムシ カメノコウムシc ドロワムシ フデツツカラムシ ハネウデムシ アサカオケンミジンコ Mesocyclops sp.

